

第62回技能五輪全国大会 電工職種 公表競技課題等に対するQ&A

更新した部分を赤字で示してあります。

1. 公表課題に関するもの

照会事項1-1：下記の使い分けについて指示されていない。

- ・ランプレセプタクルと丸形フル引掛シーリング
- ・薄鋼電線管用サドルとサドルベース
- ・PF管用サドルとクリックバンド

回答1-1：競技当日に指示する。

照会事項1-2：前回大会まで公表されていた「小型PLC制御盤内部配線接続図」が公表されていないため、配線の色別等が不明である。

回答1-2：競技当日に指示する。また、電源表示（100V）のパイロットランプの回路についても競技当日に指示する。

照会事項1-3：ダクトの端部の位置が指定されていない。

回答1-3：位置が指定されていない部分に関しては選手が判断すること。なお、位置が指定されていない部分は寸法採点の対象外となる。

照会事項1-4：ボックス(G)から電灯(A)に至る硬質塩化ビニル電線管において、ボックス(G)でのS曲げが困難である。

回答1-4：必要に応じて、競技において適切に施工できるように変更する。ただし、変更する場合でも、どのように変更するかは競技当日まで公表しない。

照会事項1-5：正面作業板から左側面作業板にわたるCVVケーブルの支持の位置が、CVVケーブルの曲がり部分にかかってしまう可能性がある。

回答1-5：必要に応じて、競技において適切に施工できるように変更する。ただし、変更する場合でも、どのように変更するかは競技当日まで公表しない。

照会事項1-6：競技課題の文章に、サプライズタスクを実施することを明記できないか。

回答1-6：競技課題の文章に追記する。

2. 材料・器具に関するもの

照会事項2-1：動力制御盤用ボックス下面のノック穴を使用してリングレジューサを介して金属管を

接続するところは、「プラブッシング」ではなく「キャップ付き絶縁ブッシング（DS1519K,パナソニック）」を使用してはどうか。

回答2-1：提案通りとする。

照会事項2-2：「コントロールボックス」が材料表の支給材料・器具と持参材料・器具の両方に記載されている。

回答2-2：支給材料・器具に記載されているコントロールボックスを削除する。

照会事項2-3：「小型PLC制御盤用ボックス」はどのように支給されるのか。

回答2-3：小型PLC制御盤用ボックスについては、前回大会同様、競技前日に支給する。選手は、小型PLC制御盤用ボックスの板に配線して取り付けたものを持参すること。

照会事項2-4：材料表に記載されている200V用のパイロットランプが3個となっており、課題図面と合っていない（課題図面では4個使用されている）。

回答2-4：材料表にパイロットランプ(緑)を1個追加する。

照会事項2-5：PL1およびPL2に至るメタルエフモール工事に3心のVVFケーブル必要ではないか。

回答2-5：3心のVVFケーブルを材料表の支給材料・器具に追加する。

照会事項2-6：200V回路に関して、材料が追加される可能性はあるか。

回答2-6：可能性はある。

照会事項2-7：差込形コネクタとしてWAGOの「WFRシリーズ」を使用してもよいか。

回答2-7：使用してもよい。

3. 施工方法に関するもの

照会事項3-1：電源供給用コンセント(100V用)の取付向きが、別紙1に示されたものと競技職種限定規則5.1.8に示されている内容（器具を横にした状態で取り付けるときは、器具の上側が左を向くようにすること）とが異なっている。どちらにしたがうべきか。

回答3-1：別紙1にしたがうこと。

照会事項3-2：持参材料の「端子台用カバー」を切断する専用工具を使用してよいか。

回答3-2：競技職種限定規則6.1に該当する工具がないため、使用不可とする。

照会事項3-3：制御盤用ボックス内の外部配線を固定するために、制御用電線支持具を制御盤用板に取り付けて使用してよいか。

回答3-3：構わない。

照会事項 3-4：小型PLC制御盤用ボックスからダクトに至る硬質塩化ビニル電線管に挿入される電線数が規定数をオーバーするのではないか。

回答 3-4：「管の屈曲が少なく容易に電線の引き入れ及び引き換えができる」ものとして施工すること。

照会事項 3-5：リングレジューサを使用する必要があるか。

回答 3-5：使用しなくても構わない。

照会事項 3-6：コントロールボックスの穴加工は22と27のどちらか。

回答 3-6：選手の判断に任せる。

照会事項 3-7：例えば、電灯(B)から小型PLC制御盤用ボックスまで配線するのにVVFケーブルを硬質塩化ビニル電線管に挿入しても良いか。

回答 3-7：電線管には絶縁電線（VVFケーブルの外装を剥いだものを含む）を挿入すること。

照会事項 3-8：レール式端子台は両側にエンドプレートが必要か。

回答 3-8：両側でも、片側だけでも構わない。

照会事項 3-9：持参材料の棒端子はどのような長さのものを用意すればよいか。

回答 3-9：公表されている課題および材料表を参考にして準備すること。

照会事項 3-10：サプライズタスクに取り組んだことによって残る加工穴、チョーク汚れ、板傷について修正する必要があるか。

回答 3-10：サプライズタスクのために修正・変更した箇所の傷等については採点の対象外とする。

照会事項 3-11：差込形コネクタで4本接続する場合に5本用を使用してもよいか。

回答 3-11：構わない。

4. その他

照会事項 4-1：正面作業板のは縦張りか横張りか。

回答 4-1：縦張りとする。

照会事項 4-2：ホイッスルによる合図が聞き取りにくい。カウントダウンするなどの配慮があるとよい。

回答：4-2：会場の状況に応じて対応する。

5. 持参材料・器具の相当品

以下に示す相当品の使用を認める。

材料表 No.	品名	型式	相当品
166	DINレール	TXDA2 (春日電機)	KBR-K1 (興和化成)
169	押しボタンスイッチ(緑)	AR22F0R-10G (富士電機)	HW1B-M110G (IDEC)
170	押しボタンスイッチ(赤)	AR22F0R-01R (富士電機)	HW1B-M101R (IDEC)
171	コントロールボックス	AHX922A (富士電機)	KGNW212Y (IDEC)

(以上)